

調査相談(レファレンス)事例紹介 9



Question

ヘレン・ケラーの家庭教師として有名なサリヴァン先生ですが、サリヴァン先生がヘレン・ケラーの家庭教師になった経緯が知りたいです。



Answer

サリヴァン先生（1866-1936）がヘレン・ケラー（以下、ヘレン）の家庭教師となったきっかけは、ヘレンの母がディケンズの『アメリカ紀行』中の、パーキンズ盲学校におけるローラ・ブリッジマン（以下、ローラ）への教育に関する記述を読んだことが始まりでした。ローラは幼少期の病気のため、目が見えず、耳が聞こえず、口がきけず、嗅覚・味覚もほとんどないという女性でしたが、この学校で学んだ指話術用アルファベットを巧みに使いこなし、他者との意思疎通を図っていました。

この記述を知ったヘレンの父はグラハム・ベル（電話に関する研究や単位“デシベル”に名を残すベル博士）に相談し、パーキンズ盲学校校長に問い合わせをするよう助言を受けて手紙を出します。そこで紹介されたのが同校の卒業生であったサリヴァン先生だったのです。

サリヴァン先生自身も子供のころ病気のため失明し、パーキンズ盲学校に通っていました。在学中に何度かの手術を受け、訓練の後、視力を取り戻しましたが、光に弱く、サングラスが手放せなかったそうです。入学当初、サリヴァン先生は14歳にも関わらず9歳児クラスにいれられるほど、読み書きや算術の能力が劣っていましたが、卒業時には代表のスピーチをするほどまでに成長しています。家庭教師の要請を受けたサリヴァン先生はヘレンに会うまでの数カ月間、子どもの心理や発達に関する書物や、ローラへの教育に関する報告書等を読みあさって準備したそうですよ。



参考文献

書名	責任表示	出版社	出版年	資料コード
① ヘルン・ケラー自伝 私の青春時代	ヘルン・ケラー／著 川西 進／訳	ぶどう社	1982	00798298
② 愛と光への旅 ヘルン・ケラーとアン・サリヴァン	ジ ョージ・P・ラッシュ／[著]	新潮社	1982	00798280
③ アメリカ紀行 上	ディケンズ／著 伊藤 弘之／訳	岩波書店	2005	10427078
④ アメリカ紀行 下	ディケンズ／著 伊藤 弘之／訳	岩波書店	2005	10429785

今回ご紹介した他にも調査相談（レファレンス）事例をホームページに多数ご紹介しています。

【群馬県立図書館ホームページ＞調査相談＞調査相談事例・郷土人物データベース】

お問い合わせ：群馬県立図書館 〒371-0017 前橋市日吉町1丁目9-1 電話：027-231-3008